

(1) レジ袋削減の取組み経緯とスケジュール  
[ポイント]

- エコマネー「めじろん」の普及から始まり、この運動の更なる展開を図るため「大分県レジ袋削減検討会議」を設置した。
- 平成21年6月1日からレジ袋無料配布中止を実施。

- ・ 大分県では、平成18年度からエコマネー「めじろん」マイバッグ運動を実施し、共通スタンプカード方式によりマイバッグ実践者へのレジでのポイント付与という方法で、目に見える啓発を行ってきた。
- ・ この運動の更なる展開を図るため、平成20年6月に消費者団体、事業者、行政や学識経験者からなる「大分県レジ袋削減検討会議」を設置し、検討の結果、協力可能な事業者との協定方式により、店舗でのレジ袋無料配布中止を平成21年6月1日から実施することとなった。

スケジュール	概要
平成20年6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回レジ袋削減検討会議</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>①本県状況と全国の動向について</li> <li>②マイバック持参率調査について</li> <li>③今後のスケジュールについて</li> </ul> </div>
平成20年7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2回レジ袋削減検討会議</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>①事業者のレジ袋削減の取組について</li> <li>②消費者団体のレジ袋削減の取組について</li> <li>③マイバック持参率調査結果等について</li> <li>④レジ袋削減の手法について</li> </ul> </div>
平成20年8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3回レジ袋削減検討会議</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>①レジ袋削減の意義について</li> <li>②レジ袋削減の手法について</li> </ul> </div>
平成20年10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第4回レジ袋削減検討会議</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>①これまでのまとめ</li> <li>②今後のスケジュールについて</li> </ul> </div>
平成20年11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知事への報告</li> </ul>
平成20年12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回関係者会議</li> </ul>
平成21年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2回関係者会議</li> </ul>
平成21年2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3回関係者会議</li> </ul>
平成21年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「無料配布の中止」協定締結式</li> </ul> ※21事業者201店舗・消費者団体・県・市町村
平成21年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第4回関係者会議</li> </ul>

平成21年 5月	・ 第5回関係者会議
平成21年 6月	・ 「無料配布の中止」がスタート ※26事業者214店舗
平成21年 7月	・ レジ袋削減検討会議報告会
平成21年 8月	・ 第6回関係者会議
平成21年10月	・ 第7回関係者会議
平成21年12月	・ 第8回関係者会議

## (2) レジ袋有料化の効果

- ・ 平成22年1月時点でマイバッグ等の持参率：85.1%
- ・ 平成22年1月時点で協定参加者合計29事業者219店舗
- ・ 取組み開始からの削減効果（平成21年6月～平成22年1月）  
○レジ袋辞退枚数：64,070,294枚

## (3) レジ袋有料化都道府県内一斉実施に至るまでの課題/対応/解決策 [ポイント]

● **エコマネー「めじろん」マイバッグ運動は国体開催が一つの契機。レジ袋有料化の協定に参加する多くの事業者の参加が得られた。レジ袋有料化を進める上で大きな下地になった。**

- ・ 平成18年度からエコマネー「めじろん」マイバッグ運動を実施し、共通スタンプカード方式によりマイバッグ実践者へのレジでのポイント付与という方法で、目に見える啓発を行ってきた。そしてそのポイントは国体のマスコットキャラクターグッズと交換していた。
- ・ その際に参加していた事業者の多くが、レジ袋有料化の協定に参加し、レジ袋有料化を進める上で大きな下地になった。
- ・ 国体という県を挙げて取り組むべきイベントが多く事業者を取り込む一助となった。
- ・ また、大分県では平成15年から、県民総参加の「ごみゼロおおいた作戦」を推進しており、多くの市民団体がごみの削減等の運動を展開してきた。以下は市民団体が実施してきたレジ袋削減に関する主な運動である。

- ①レジ袋削減の意義等の普及活動
- ②レジ袋削減に関連する市民の意識調査
- ③意識調査を基にした事業者に対するレジ袋削減への協力要請

## (4) レジ袋有料化都道府県内一斉実施後の課題/対応/解決策 [ポイント]

● **多くの食品スーパーは協定に参加しているが、他の業種にもレジ袋有料化の輪を拡げることが必要**  
● **他業種にもレジ袋有料化の輪を広げるために、業種毎に意見交換会を開催**

- ・ ひきつづき、ホームセンターやドラッグストア、ディスカウントストアにも協定参加を呼びかける。
- ・ まずは業種毎の意見交換会を開くなどの施策を実施している。

<参考：市町村の状況>

市町村名	店舗数	マイバッグ持参率(%)	
	(H22.1末)	2009年12月	2010年1月
大分市	81	84.1	84.6
別府市	27	84.3	84.9
中津市	15	83.7	83.4
日田市	6	81.3	80.6
佐伯市	20	86.2	85.7
臼杵市	10	89.1	88.9
津久見市	5	88.3	88.6
竹田市	9	89.7	91.1
豊後高田市	5	86.4	86.2
杵築市	6	87.5	87.6
宇佐市	7	83.4	83.3
豊後大野市	9	84.8	84.4
由布市	5	84.6	84.1
国東市	5	87.9	89.1
姫島村	1	—	89.3
日出町	5	84.8	84.8
玖珠町	3	85.3	85.5
計 17 市町村	219	84.8	85.1

※大分県ホームページより引用